

平成22年一番茶実収報告

京都府農林水産技術センター
農林センター茶業研究所

1. 摘採日

(摘採期)

仕立て法	本年	前年	前5か年	平年
自然仕立て	5月6日	5月4日	5月7日	5月7日
弧状仕立て	5月8日	5月4日	5月8日	5月7日

注) 平年は、平成6年～平成21年までの16年間の値

2. 生葉収量 (kg/10a)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	収量	指数	収量	指数	収量	指数
自然仕立て	586.5 ± 65.8	99	742.3 ± 56.9	125	592.5 ± 72.9	100
弧状仕立て	367.3 ± 96.8	107	264.2 ± 56.6	77	342.9 ± 50.8	100

3. 百芽重 (g)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	重量	指数	重量	指数	重量	指数
自然仕立て	49.7 ± 4.6	96	53.1 ± 4.6	102	51.9 ± 5.5	100
弧状仕立て	55.2 ± 14.4	108	40.8 ± 10.2	80	51.2 ± 8.7	100

4. 新芽数 (本/m²)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	新芽数	指数	新芽数	指数	新芽数	指数
自然仕立て	772.8 ± 116.0	159	690.4 ± 122.6	142	486.3 ± 79.4	100
弧状仕立て	1385.0 ± 370.0	88	2008.3 ± 489.0	127	1581.7 ± 348.3	100

注) 自然仕立ての数値は、20cm幅帯摘みの新芽数

5. 出開き度 (%)

仕立て法	本年	前年	前5か年平均
自然仕立て	34.0	47.3	45.3
弧状仕立て	70.0	71.8	52.0

6. 概要

(1) 摘採日

本年の一番茶摘採日は、自然仕立て園が5月6日で前年より2日遅く、前5か年平均より1日早かった。弧状仕立て園は5月8日で、前年より1日遅く、前5か年平均と同じになった。

(2) 生葉収量

10a当たりの生葉収量は、自然仕立て園が586.5kgで前5か年平均とほぼ同等であり、弧状仕立て園が367.3kgで前5か年平均より多かった。

(3) 病害虫の発生状況

チャノホソガおよびチャノコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺数は平年と比較して少なかった。クワシロカイガラムシが多発した。

(4) 周辺茶園の状況

全農京都茶市場への出荷量は、前年比で煎茶99%、かぶせ茶97%、玉露94%の状況。てん茶は製茶期間中である。(6月12日現在)